

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和元年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 石川県

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	介護給付適正化の推進
目標を設定するに至った現状と課題	<p>今後ますます高齢者人口が増えることに伴い、要介護認定者・介護給付費も増えることが見込まれており、介護保険制度の持続性及び公平・公正性を高める観点から、県においては市町（保険者）が行う介護給付適正化の取り組みを支援していく必要がある。</p> <p>一方で市町によっては、主要5事業（①要介護認定の適正化、②ケアプランの点検、③住宅改修、福祉用具実態調査、④医療情報との突合・総覧点検、⑤介護給付費通知）の一部しか実施していない場合や、事業を既に実施していても取組内容には差がある状況である。</p>
取組の実施内容、実績	<ul style="list-style-type: none">・認定調査員現任研修（R1. 8. 22） 要介護認定において公平・公正かつ適切な審査が行われるよう、認定調査に従事する市町職員等を対象として研修会を開催した。・介護予防事業担当者研修（R1. 11. 25） 効果的なケアプラン点検のために、課題整理総括表の活用について知識を深めた。・介護認定審査会委員研修（R2. 1. 19～2. 9 県内4圏域で実施） 要介護認定において公平・公正かつ適切な審査が行われるよう、介護認定審査会委員を対象として研修会を開催した。
自己評価	R2年度中に、全保険者が主要5事業全てに取り組む予定である。

イ 管内保険者の自己評価結果の概要	
	ケアプラン点検数を数値目標に設定している保険者に関しては、概ね数値目標を達成しているため自己評価結果は高いが、点検を行う職員の技量に差があるため、職員の資質向上を課題に挙げている保険者が見られた。

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）	
	一部の事業については、未実施の保険者がなお存在しているため、引き続き県からの支援が必要である。中でもケアプラン点検に関しては、コスト・人員面から実施が困難な保険者がいるが、未実施の保険者には、一部を抽出して点検するなど助言して全市町実施につなげたい。